

2024年5月、「山形大学人材育成プログラム「i-HOPE」2024  
新事業創出イノベーションプログラム」が始まりました。  
本記事では、2024年7月のフィールドワークの様子をご紹介します。



### 新事業創出イノベーションプログラム「i-HOPE」2024

- 新事業創出に必要な起業家精神と知識・スキルを学ぶプログラム
- 期間は2024年5月から12月の約8か月間
- 隔週土曜日開催で講義日は全17回

#### ●フィールドワーク

本プロジェクトの大きな特徴の一つとして、モデル地域でのフィールドワークを1泊2日の合宿形式で実施しました。フィールドワークは、地域課題と地域資源をテーマに、ビジネスアイデアを創出し、社会実装・実証実験する場です。今年度のモデル地域は山形県尾花沢市です。

#### ●現地ヒアリング (7/20)

1日目は、受講生が尾花沢市内の施設を訪問し、現地の方や講師・メンターの方から、町や施設について説明を受け、課題の本質や現場のニーズのヒアリングを行いました。



会場の様子（徳良湖温泉 花笠の湯）

#### フィールドワーク/ヒアリング

- ・花笠踊り/徳良湖のアクティビティ（三浦好昭 様）
- ・尾花沢そば（高橋晃治 様）
- ・銀山温泉（脇本英治 様）
- ・すいか選果場見学（JAみちのく村山尾花沢営農センター）
- ・キャンプ場視察（田中恵美子 様）



ヒアリングの様子



すいか選果場見学



銀山温泉街散策



キャンプ場視察

## ●ビジネスアイデア検討 (7/21)

2日目には、前日のヒアリングを基に、これまで検討してきた地域課題の検証を行いました。各チームにはメンターが1名ずつ配属され、メンタリングを受けながら、課題解決のためのビジネスアイデアをブラッシュアップしました。

チームメンバーは、異なる業種の社会人や教師、学生など多様なバックグラウンドを持つため、様々な視点から意見が飛び交いました。



メンタリングの様子

## ●ビジネスアイデア発表 (7/21)

発表時間は3分。その3分間に込められた思いをもとに発表が行われました。発表後、メンターからはコメントをいただきました。

「その発想は面白い!」と評価されたアイデアもあれば、「もう少しターゲットの解像度を上げた方がよい」などのアドバイスを受けたチームもあり、非常に有意義な時間となりました。



発表の様子



メンターからの講評



尾花沢市 結城市長



小野寺塾長

## TOPIC



## メタバーステックキャンプ& VRハッカソン2024 in 山形大学を開催

山形大学小白川キャンパスにて、学生同士の交流や学生と企業の交流、メタバースやVR・AR技術の普及・発展を目的に8月8日～10日にイベントを開催。ドバイ政府認定アーティストのせきぐちあいみ氏(左写真)をはじめ、著名な講師陣による特別講義を行いました。